

【学校関係者評価書】（令和7年度）

| | |
|------------------|------------|
| 園 名 | 奈良市立朱雀こども園 |
| 評価者名 (学校評議員名) | |
| 学校関係者評価実施日 | 令和8年 2月 5日 |

| 大項目 | 中項目 | 目標達成状況及び 取組状況について | 園の取組の 適切さについて | 教育活動、学校経営の 改善方針について |
|--------------------|---|--|---|--|
| I 教育・保育活動に関するもの | 教育・保育目標 教育・保育計画 教育・保育内容/指導 人権教育 特別支援教育 園行事 | <ul style="list-style-type: none"> 園長を中心に全職員による保育内容の工夫、年間行事の立案などしっかりしている。例年3学期に行っていた作品展を2学期に変更されたが、秋の遠足で訪れた水族館での経験を気持ちが途切れることのないよう取り組みの過程を大切にしている。 挨拶、笑顔、物おしせず自己表現をする園児の姿に伸び伸びと育てようとする先生方の指導姿勢を感じる。園児の思いや意見を聞き、さりげない支援で自己表現の助けになるような方向を目指していることが分かる。 | <ul style="list-style-type: none"> 前年度の保護者の意見要望を職員間で共有し良い方向を相談しつつ進めていく姿は心強い。 行事に関しても目標に沿って無理なく進められ、何より子どもたちが楽しそうに取り組んでいる。保育の中で個々を大切にされ、特別支援の園児へのかかわりも適切である。 地域での交流も双方に好評のようです。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域活動への参加により中・高・地域など様々な世代とよい交流ができている。隣接している小学校との交流についても無理のない範囲で進めていただきたい。 保護者ニーズも多様化し情報共有が大切となる。紙からデジタル化であるが、家庭差もあるので配慮が必要である。 分園の立地であるが、連携を意識し、欠点を利点に変える努力をしている。 |
| II 園経営に関するもの | 組織運営 研究・研修 危機管理 保健管理 地域との連携 施設・設備 情報管理 | <ul style="list-style-type: none"> すべてにおいて妥当である。安全管理については、隣接する小学校や地域と連携して取り組んでいる。 地域との連携については、地域と学校園の連携事業に左京とこども園と参加して下さり幅が広がった。 | <ul style="list-style-type: none"> 積極的に園の動きを地域に知らせている。 保護者アンケートや自己評価を見る限り、大きな問題は見受けられない。 こども園という性格上人員確保やスケジュール調整は大変であると思う。 施設の老朽化については気になる部分がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの回答の中で「わからない」がいくつか見られた。知ろう分かるうとしていない保護者もいるのか気になった。わからないだけなら、先生との話し合いの中で分かるようになってほしい。 園独自で出来ることは限られているが、幼児教育の更なる充実のためには、優秀な人材は必須である。 安全管理に関してはデジタル化（オートロックなど）の検討時期かと思う。 |

その他の園に関する意見

- こども園に足を運ぶ貴重な体験をいただき、ご縁を感じる。分園、さらに60名の職員と共に園運営及び内外への様々な対応は大変であると思う。子どもを真ん中に「人とかがわかることの心地よさ」に重点を置き、一人一人の子どもに温かなまなざしでしっかり寄り添っています。いつ訪れても園の職員の雰囲気良く、信頼し合える関係づくりをされている。物事を様々な視点から捉え考察し、日々の保育や経営にいかされている。
- 運動会や発表会など子供たちの成長の成果を見せていただくことが楽しみでした。園内の備えも季節ごとに工夫があつてよかった。
- 一般論にあるが、園児の性被害防止の施策はあるのか。同時に職員を守ることにものなる施策が良いと思う。
- 地域として、お手伝いできることがあれば遠慮なく言ってほしい。

学校関係者評価書の様式を示していますが、各学校園でそれぞれに応じた形式にさせていただいて結構です。

ただし、紙媒体はA4用紙で提出願います。